
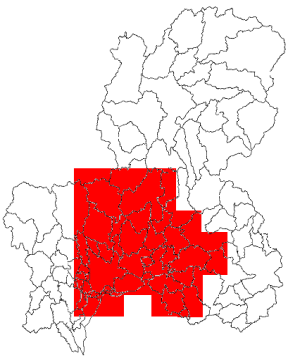


ヒナラン	<i>Amitostigma gracile</i> (Blume) Schitr.	絶滅危惧 I 類
(環境省:絶滅危惧 I B 類)		ラン科
選定理由	生育箇所の減少と共に園芸目的の採取圧がある。	<p>写真(須賀瑛文)</p> 
形態の特徴	高さは5-15cm。長楕円形～広披針形の葉が茎の下部に1枚つく。花は小さくて、淡紅紫色で片側につく。唇弁は長くて3深裂し、中裂片は広い。根は紡錘形で数本のひも状の根がある。花期は4-6月。	
生態的特徴	山地の岩上や樹幹に生える。	
分布状況	本州、九州に分布する。岐阜県では美濃地方中部に分布する。	
減少要因	再生産能力を上回る採取がある。	
保全対策	採取の禁止。分布情報を公表しないことが望ましい。	
特記事項		
参考文献		
		※生育地保全のため、広範囲の分布図を表示しています。

文責:山崎玲子